

01
目的

グループ理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」に基づき、企業スローガンである「マチのほっとステーション」の実現を目指しています。

お客様の身近なコンビニエンスストアだからこそできる、健康で長寿な暮らしをサポートすることにより、“近くにいつものローソンがあるから安心”と言っていただけるような存在でありたいと考えています。そのためには、まず従業員が健康、加盟店のオーナーさん・クルーさんが健康であることが大切であり、ローソンで働くみんなの健康維持向上に努めています。

02
課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題と効果



課題：①従業員のパフォーマンス向上

健康経営で解決したい経営上の課題	従業員がポジティブに働ける環境の実現を目標に高ストレス部署の撲滅を目指しているが、コロナ禍以降働き方の変化の影響もあり、部署間の差が広がっている。特に営業部門において高ストレスに該当する部署が増加し、業務生産性・業績に影響が生じている。課題がある部署における原因の究明・把握、産業保健スタッフの介入・サポートの徹底、及び従業員特に管理職の意識改革を進める必要がある。
健康経営の実施により期待する効果	上記課題の解決を図ることで従業員一人ひとりのパフォーマンスが向上すると同時にローソンの健康ビジョンである「明るく・楽しく・元気に働きがいのある職場の実現」が達成され加盟店・従業員・お客さまのウェルビーイングが実現できることを期待する。 高ストレス部署比率【2021年15.2%】→【2022年10%】→【2025年6.6%】 エンゲージメント【3.7】→【3.8】→【4】 プレゼンティーズム【3.7】→【3.8】→【4】

自社従業員（組織）の課題と目標

●重点課題1



⑭メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応に関する課題

課題内容 ストレスチェック結果の高ストレス比率において、個人比率は【2019年 14.6%】→【2020年 14.5%】と改善傾向にあるが、部署比率は【6.6%】→【10.7%】と改悪している。コロナ禍の働き方の変化により、従来とは異なる負荷が発生し、部署・業務別により格差が広がっている。実態の把握と対策が課題。併せてラインケア・セルフケアのEラーニング、運動動画、疲労度チェックを随時実施できる環境の整備、実施勧奨が必要。

目標

ストレスチェック 高ストレス者比率

	数値	年度
目標値	12.0%	2025



⑬生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

課題内容 自社基準によるハイリスク者比率は【2019年 10.1%】→【2020年 11.3%】と改善が進まない。主な要因は毎年予備群からハイリスク群への新規移行者を減らす取り組みができていないためである。また、ハイリスク者対応の徹底と併せ、ポピュレーションアプローチとして予備群に対するよりきめ細かいサポート（健康リテラシーのインプット、食事・運動・睡眠の自己管理）が必要である。

目標

肥満適正者比率(男性)

	数値	年度
目標値	52.0%	2025

肥満適正者比率(女性)

	数値	年度
目標値	79.0%	2025

04
成果
健康経営の

経営上の課題に対する健康経営の成果

継続的に施策や情報発信・取組進捗共有を行うことで、施策参加率向上や健康診断受診完了スピードの早期化が図れるなど、リテラシーは向上していると実感している。社員意識調査での総合満足度指標結果（私は、この会社で働くことに総じて満足している）では、ポジティブ回答比率が2020年以降74%以上で推移している。

03
施策・実績

健康経営の取り組み

●施策内容＜重点課題1＞



産業医によるラインケア研修を実施（ストレスリスクが高い10部署）、多様性に対応したマネジメント手法をレクチャー実施。意識調査にてリスクが高い部署に限定しマネジメントのワークショップを実施。

ストレスチェック 高ストレス者比率

	数値	年度
取組前実績値	14.5%	2020
現在の実績値	14.1%	2021

具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	オンラインを活用したメンタルヘルス研修
内容	Teamsを活用した全国へのメンタルヘルス研修
導入時期	2021年9月
評価 (定量・定性)	●メンタルヘルス研修参加率100% (30/30部署)

●施策内容＜重点課題2＞



- ハイリスク者をレベル分けしハイリスク予備群に対し通院・治療報告を必須としたサポートを実施
- 健保のレセプトデータから通院治療を放置している従業員を抽出し、治療再開までサポート実施
- 適正体重BMI22を目指す運動促進施策を実施

肥満適正者比率(男性)

	数値	年度
取組前実績値	50.1%	2019
現在の実績値	46.8%	2021

肥満適正者比率(女性)

	数値	年度
取組前実績値	78.2%	2019
現在の実績値	75.4%	2021

具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	カロママプラス
提供元社名	株式会社リンクアンドコミュニケーション
内容	歩数・睡眠・食事・体組成管理
導入時期	2017年
選択理由	●価格 ●効果 ●機能・性能 ●使いやすさ ●サービス・製品の可能性
評価 (定量・定性)	●2017年～食事・運動・睡眠に関する問診回答内容が改善。 ●企画毎に施策参加者の約25%の体重減が実現。 ※アンケート回答より

取り組みにおいての課題や困っていること

実施している施策の課題	若年層や無関心層のリテラシーや参画意欲向上への仕掛けは毎回様々な工夫をしているが苦慮している。
今後取り組みたい施策の課題	—